



請求管理ロボ

---

仕訳連携仕様書(財務R4)  
～第1版～



# はじめに

---

## <概要>

- ・システム上作成されている仕訳の一覧のご確認と会計ソフト連携用  
エクスポートフォーマットの出力が可能です。
- ※エクスポートフォーマットに関しては、  
現状、財務R4の他、弥生会計、free、勘定奉行、PCA会計、MF会計に対応して  
おります。
- ・システム上作成される仕訳の勘定科目名と補助科目コードの設定が可能です。

請求管理ロボからの仕訳データCSVのエクスポート、  
仕訳ソフトへのインポートにより仕訳の登録を一括で行うことができます。

## <注意事項>

以下機能のご利用をご希望の場合、  
別途オプションのご契約が必要でございますので、  
ご希望の場合は以下のメールアドレスにお問い合わせをお願い致します。

## <ご連絡先メールアドレス>

support@billing- robo.jp

# 目次

---

- » CSVエクスポート手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- » エクスポートデータの基本仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- » 財務R4と請求管理ロボ項目対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5~7
- » 財務R4インポート仕様(補足資料)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8~12

# CSVエクスポート手順

管理画面上部タブの仕訳→仕訳伝票エクスポートからエクスポートします。

仕訳伝票エクスポート

①

②

- ①伝票日付 : 会計の計上日付け
- データ作成日 : 仕訳データが作成された日(請求書の作成日or売上計上日)
- エクスポート済み : 既にエクスポートしたデータか未エクスポートのデータ

②上記条件設定を行いエクスポートをクリック

下記のような仕訳ソフトへ連携可能なデータが出力されます。  
(項目フォーマット参照)

伝票日付	伝票番号	借方部門	借方科目	借方補助	借方金額	借方消費	借方消費	貸方部門	貸方科目	貸方補助	貸方金額	貸方消費	貸方消費	行摘要	期日	入力アプリ	入力日付
20160426	421	1	100		10000			1	206		10000					請求管理	20211005
20160426	421	1	100		10000			1	206		10000					請求管理	20211005
20160426	424	1	206		10000			1	100		10000					請求管理	20211005
20160426	424	1	206		10000			1	100		10000					請求管理	20211005
20160426	427	1	100		10000			1	206		10000					請求管理	20211005
20160426	427	1	100		10000			1	206		10000					請求管理	20211005
20160426	430	1	206		10000			1	100		10000					請求管理	20211005
20160426	430	1	206		10000			1	100		10000					請求管理	20211005
20160426	436		100		26			1	206		26					請求管理	20211005
20160426	436		100		37			1	206		37					請求管理	20211005
20160426	436		100		1			1	206		1					請求管理	20211005
20160426	440	1	206		26			1	100		26					請求管理	20211005
20160426	440	1	206		37			1	100		37					請求管理	20211005
20160426	440	1	206		1			1	100		1					請求管理	20211005

# エクスポートデータの基本仕様

»出力ファイル名称：zaimu\_oen\_yyyyMMdd.csv

»出力フォーマット形式：カンマ（CSV）形式

»文字コード：Shift-JIS

»レコード終端の改行コード：CRLF

»ヘッダ行の有無：有

»区切り文字：カンマ区切り

文字型項目は""（ダブルクォート）で囲む or 囲まない どちらでも可  
（カンマ）を文字として扱う場合は""（ダブルコーテーション）で囲む

## 財務R4と請求管理ロポ項目対照表

項番	財務応援R4項目	請求管理ロポ項目	データ	備考
1	伝票日付	伝票日付	yyyyMMdd	
2	伝票番号	伝票No	伝票No	7桁以上の場合、下6桁を出力。
3	借方部門	請求元部署コード (仕訳連携用コード)	請求元部署コード	請求元部署のマスタから参照
4	借方科目	借方_勘定科目コード	借方_勘定科目コード	勘定科目設定から参照
5	借方補助	借方_補助科目コード	借方_補助科目コード	勘定科目設定から参照
6	借方金額	借方_金額 借方_消費税額	借方_金額 + 借方_消費税額	税込金額を出力 税区分により、 下記の値を出力する。 外税：金額+消費税 内税：金額 上記以外：金額

項番	弥生会計項目	請求管理口ボ項目	データ	備考
7	借方消費税コード	借方_消費税コード	借方_消費税コード	
8	借方消費税税率	借方_消費税率	借方_消費税率	パーセントの値で出力 例：10%の場合、10
9	貸方部門	貸方_請求元部署コード(仕 訳連携用コード)	貸方_請求元部署コード(仕 訳連携用コード)	請求元部署のマスタから参照
10	貸方科目	貸方_勘定科目コード	貸方_勘定科目コード	勘定科目設定から参照
11	貸方補助	貸方_補助科目コード	貸方_補助科目コード	勘定科目設定から参照
12	貸方金額	貸方_金額、 貸方_消費税額	貸方_金額 + 貸方_消費税額	税込金額を出力 税区分により、 下記の値を出力する。 外税：金額+消費税 内税：金額 上記以外：金額
13	貸方消費税コード	貸方_消費税コード	貸方_消費税コード	
14	貸方消費税税率	貸方_消費税率	貸方_消費税率	パーセントの値で出力 例：10%の場合、10
15	行摘要	空欄	空欄	
16	期日	空欄	空欄	
17	入力アプリ		請求管理口ボ	左記文字を固定で出力
18	入力日付		yyyyMMdd	エクスポートした日付

# 財務R4インポート仕様

条件欄のマークの見方

- ○：項目、値ともに省略不可
- △：取込先データのマスター設定により、項目、値ともに省略不可
- 無印：値は省略可能、項目は省略不可

	条件	項目名	桁数	型	備考
1	○	伝票日付	8	日付	
2		伝票番号	6	数字	最大 6 桁の数字
3	△	借方部門	6	数字	内容を空欄にしたときは、「0」が設定されます。
4	○	借方科目	6	数字	
5	△	借方補助	6	数字	
6	○	借方金額	12	数字	最大 12 桁の数字（マイナス可）
7		借方消費税コード	2	数字	「消費税区分コード」の「応援用コード」 財務R4 Liteシリーズ リファレンスマニュアル 2020 Ver.20.2 「消費税区分コード」14-150 ページ 参照
8		借方消費税税率	2	数字	「消費税率」の「税率 テキスト欄」（「0」省略可） 財務R4 Liteシリーズ リファレンスマニュアル 2020 Ver.20.2 「消費税率」14-159 ページ 参照 税率を空欄にした場合は、仕訳の日付に従って次の税率がセットされます。 1997/03/31 以前 3% 2014/03/31 以前 5% 2014/04/01 以降 8% 2019/10/01 以降 10%

	条件	項目名	桁数	型	備考
9	△	貸方部門	6	数字	内容を空欄にしたときは、「0」が設定されます。
10	○	貸方科目	6	数字	
11	△	貸方補助	6	数字	
12		貸方金額	12	数字	最大 12 桁の数字（マイナス可）
13		貸方消費税コード	2	数字	「消費税区分コード」の「応援用コード」 財務R4 Liteシリーズ リファレンスマニュアル 2020 Ver.20.2 「消費税区分コード」14-150 ページ 参照
14		貸方消費税税率	2	数字	「消費税率」の「税率 テキスト欄」（「.0」省略可） 財務R4 Liteシリーズ リファレンスマニュアル 2020 Ver.20.2 「消費税率」14-159 ページ 参照 税率を空欄にした場合は、仕訳の日付に従って次の税率がセットされます。 1997/03/31 以前 3% 2014/03/31 以前 5% 2014/04/01 以降 8% 2019/10/01 以降 10%
15		行摘要	96	文字列	
16		期日	8	日付	西暦 (YYYYMMDD)
17		入力アプリ	30	文字列	設定されていない場合は、次の名称 • 取込条件設定で設定されている名称 • 起動したアプリケーション名
18		入力日付	8	日付	システムがセットする西暦 (YYYYMMDD)

- 貸方金額がない場合は、借方金額が取り込まれます。
- 「借（貸）方消費税コード」が省略された場合は、科目マスターに設定されている消費税コードから込/抜の情報が設定されます。  
込/抜を指定したい場合は、取り込む仕訳データに  
「借方/貸方消費税フラグ 1：込/2：抜」  
を設定して取り込むようにしてください。
- 取込データの内容に不整合がある場合は、「正しいヘッダーが使用されていません。」  
というメッセージが表示されます。